



平成 26 年 9 月発行
発行部数 24,000 部
編集・発行
(公財)横浜市緑の協会
横浜市子ども植物園

よこはま 子ども植物園だより

No.139 (秋号)

〒232-0066 横浜市南区六ツ川 3-122
Tel 045-741-1015 FAX 045-742-7604
開園 9:00-16:30 (第3月曜日は休園、
祝日の場合は翌日)
http://www.hama-midorinokyokai.or.jp



横浜で比較的好くみられる7種類の赤トンボを見分けてみよう。主なポイントは胸の模様と色だ。羽化直後黄色だった体の色が、成長するにたがいに赤く変化する。基本的にメスは赤くならず黄色っぽい色のままだ。この秋はトンボの見分けにチャレンジしよう。何種類のトンボが見られるかな？

横浜の赤トンボ

よくみられる7種を見分けよう

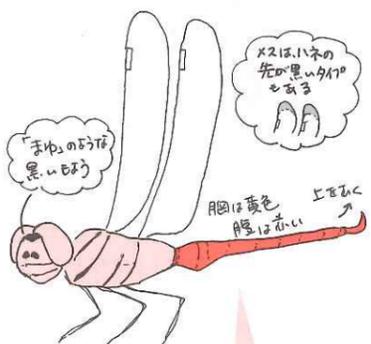


アキアカネ

代表的な赤トンボ。
特徴：胸の黒い線がとがっている。
すみか：ガマなどが茂る池、湿地、田んぼ、プール。

ナツアカネ

特徴：十分に成長した♂は複眼(トンボのたくさんある目のこと)をふくめて真っ赤になる。アキアカネより小さい。胸の黒い線の先端が平らになっている。
すみか：横浜では川ぞいの田んぼなどの田園地帯。



ノシメトンボ

特徴：翅の先が黒っぽい大型の赤トンボ。胸の黒い線が上にくっつく。ほかの赤トンボに比べると黒っぽい。
すみか：横浜では田園地帯。まれにプール。



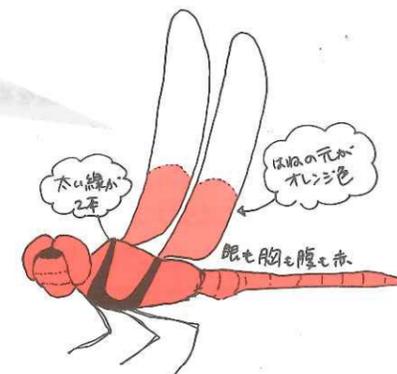
マユタテアカネ

特徴：顔に黒いマユのような模様がある、体が細い赤トンボ。♂の腹の先が上に曲がっている。
すみか：ガマなどが茂る池、湿地、田んぼ、ゆるやかな流れ。林のふちの木陰が好き。



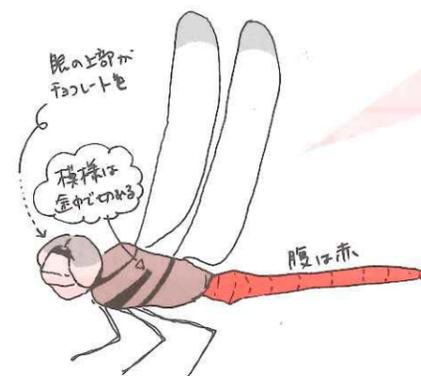
ネキトンボ

特徴：翅の付け根がオレンジ色をした中型のトンボ。胸に太い黒い線がある。十分に成長した♂は複眼を含めて全身が真っ赤になる。
すみか：森や林に囲まれた暗い池、プール。



コノシメトンボ

特徴：翅の先が黒っぽい中型の赤トンボ。十分に成長した♂は複眼を含めて全身があざやかな赤になる。胸の黒い線が途中で後ろ側のものと接する。
すみか：ガマなどが茂る池、田んぼ、プール。



リズアカネ

特徴：翅の先が黒っぽい中型の赤トンボ。十分に成長した♂の腹部は赤くなるが胸は褐色。胸の黒い線の先端は上にくっつかない。
すみか：森や林に囲まれた池。

アキアカネの避暑旅行

アキアカネは、横浜など平地の田んぼで6月頃から羽化して、7~8月の暑い時は高い山に飛んで行って、虫をたくさん食べて成熟(十分に成長すること)して赤くなる。9月の中ごろから、群れで平地に降りてきて、交尾して卵を産むよ。



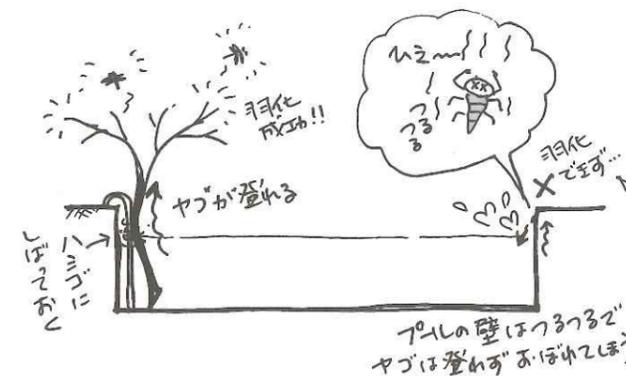
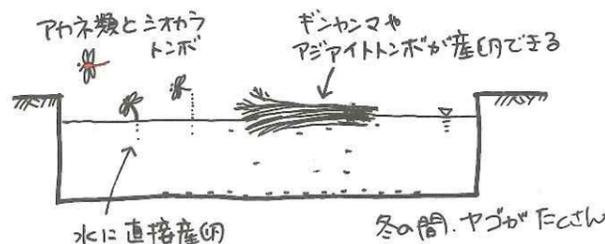
プールでトンボをふやそう

6月 上陸作戦

木の枝を立てておくと、ヤゴが上って羽化できる。

9月 プールじまいの時の工夫

ススキなどの刈り草を束ねて浮かべておくと、卵を産みつけることができる。



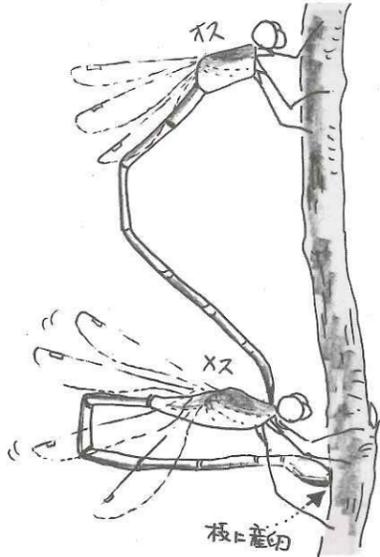
トンボ豆知識

● 害虫とされたトンボの話～オオアオイトトンボ ●

人間の生活に害をもたらす昆虫を害虫（がいちゅう）、利益をもたらす昆虫を益虫（えきちゅう）というけれど、トンボは、ハチやカマキリと並んで益虫の代表とされている。トンボはデング熱などの病気をうつす蚊や、イネに害をもたらすウンカを食べてくれる。そんなトンボの中にも、昔害虫とされたトンボがいた。それは水辺の木の枝に卵を産むオオアオイトトンボだ。

普通、トンボは水の上や水中に卵を産む。でもオオアオイトトンボは生きている木の枝の皮の下に卵を産むんだ。そのことから100年くらい前、梨やサクラランボなどの果樹や桑、ヤナギなどの樹木がオオアオイトトンボが卵をうんだために枯れてしまったとされて、オオアオイトトンボは害虫として駆除（くじょ）（殺したり追い払ったりすること）された。果樹の枝に卵を産みにこられないようにテレピン油という薬をぬったり、桑園の周りの水辺に、幼虫を殺すために石油をまいたりした。また見つけたオオアオイトトンボの成虫はつかまえて殺された。

でも、今よりオオアオイトトンボがたくさんいて、たくさん卵を産んだとしても、本当にこのトンボの産卵のせいで木が枯れてしまったのかどうかは疑問なんだ。そして、今ではオオアオイトトンボそのものが少なくなってしまい、昔害虫として問題になったことを知る人も少なくなった。



野菜畑 秋の作業

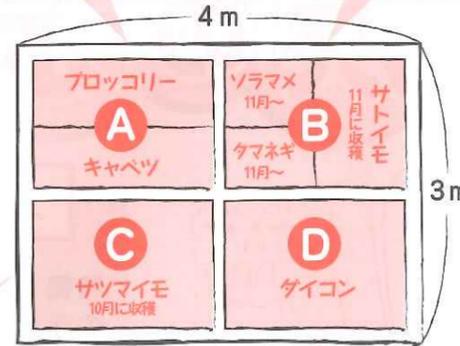
春号でスタートした畑づくり。季節の作業をアドバイスします。

A 収穫できる→

ズッキーニとトマトは片付ける。トマトの畝（うね）全部と、ズッキーニの畝の半分を合わせて一つの畝にし、ブロッコリーの苗を植えよう。ピーマンと残り半分のズッキーニの畝は11月にキャベツの苗を植える。ピーマンは10月くらいまで収穫できるよ。
ブロッコリー アブラナ科。苗を植える。畝幅60cm、株間40cm～45cm。作付間隔1年
キャベツ アブラナ科。苗を植える。畝幅60cm、株間40cm～45cm。作付間隔2年

B 収穫できる→

キュウリは収穫がすんだら片付けよう。キュウリの後は11月にソラマメを植える。ナスは10月くらいまでに収穫し、11月にはタマネギの苗を植えよう。どちらも植えた後はたっぷり水をやろう。サトイモは肌寒くなって葉っぱが黄色くなりかけたら収穫時期だ。サトイモの後は春までお休み。
ソラマメ マメ科。大きな種の黒い部分を下にして土にさす。畝幅70cm株間40cm。作付間隔6年
タマネギ ユリ科。苗を植える。60cmの畝に15センチ間隔で3条に、苗と苗の間も15cm間隔で苗の白い部分だけを土に埋める。連作はできる。



C 収穫できる→

サツマイモは10月に入ったらためし堀をしてみよう。収穫の時はツルを切って片付けてから芋を掘る。スコップを使うときは芋を傷つけないように気を付けてね。サツマイモの後は3月にジャガイモを植えるまでお休みする。

D 収穫できる→

シュンギクの後はダイコンの種まきだ。ダイコン栽培には土が大事。ダイコンが長く伸びても大丈夫のように30cm以上は耕そう。畝は60cmの畝を二畝作る。30cm間隔にコップの底などでしるしをつけて、ダイコンの種を5粒ずつまこう。双葉が出るまでは土が乾かないように水をやろう。双葉が出そろったら1番目の間引き。3本にする。ギザギザの葉っぱ（本葉）が2～3枚出たところで2本にする。本葉が5～6枚になったらいいほうを残して1本にしよう。取った葉はもちろん食べられるよ。
ダイコン アブラナ科。畝幅60cm、30cm間隔で一か所に5粒まき。連作はできる。



横浜市こども植物園 秋のイベント

こども植物園秋祭り

花苗交換会や、園内で収穫した果物(柿)やバラ苗「はまみらい」の販売をします。

日時：11月1日(土)・2日(日) 10:00～15:00

場所：横浜市こども植物園研修室、池の前広場

内容：生産物・ハーブティーの販売、開港150周年記念のバラ「はまみらい」の苗の販売、リースづくり、ヨーヨー釣りなど

《市民花苗交換会》

家で作った花苗や種を交換します。 場所：研修室

申込方法

【教室名】【開催日】【保護者氏名】【お子様氏名・年齢】【ご住所】【電話番号】を明記の上、ハガキ・Fax・電子メールで申し込み締切日までに申し込みください。ハガキの場合は締切当日必着です。お申し込み頂いた方には、教室開催前の1週間前を目安に、教室の詳しいご案内をハガキ、Faxでお申し込みの方は郵送で、電子メールでお申し込みの方はメールでお知らせいたします。なお、応募多数の場合は抽選し当否をお知らせいたします。

メールアドレス：r-moushikomi.199@hama-midorinokyokai.or.jp

※お電話での受け付けはいたしませんので、ご注意ください。

落ち葉感謝祭

日時：11月3日(月・祝)

10:00～15:00

場所：横浜市こども植物園

池の前広場他

《草木遊びスタンプラリー》

クズの輪投げ、オナモミのダーツ、スキのやり投げをして園内を回ります。全部回ったらゴールプレゼントを差し上げます。

受付：池の前広場 費用：無料

《ドライフラワーでリースをつくらう》

アジサイや木の実で作ります。

場所：池の前広場

(雨天の場合 研修室)

費用：300円

《ヨーヨーつり》

場所：池の前広場 費用：50円

《収穫物の販売》

園内でとれたカキなどを販売します。

場所：池の前広場

展示

◆菊花展◆

期間：10月26日(日)～11月24日(月・祝)

内容：小菊盆栽、大菊、野生菊を鉢物展示

会場：池の前広場テント内

協力：横浜菊花会、小菊盆栽芸術協会長生会

開催時間：9:00～16:30

※11月17日(月)は休園日

親子で作ろう、クラフト遊び

3歳児～小学生とその保護者の方でご参加ください。

◆自然素材でつくろう！クリスマス飾り◆

木の実や松ぼっくりでクリスマス飾りを作ります。

日時：12月6日(土) 10:00～11:30

費用：1人300円(材料代)

場所：研修室

申込：11月25日(火)までに申し込み。

抽選10組

親子自然観察教室 野鳥と親しくなろう！

巣箱を作って園内に設置します。春になったら巣作りの様子が見られるかも！

小学生とその保護者の方でご参加ください。全3回。

1回目：11月9日(日) 巣箱づくり

2回目：12月14日(日) 自分の木探しと巣箱の設置

3回目：2月15日(日) 早春の野鳥を探そう

時間：10:00～12:00 費用：無料

場所：研修室および園内

人数：小学生と保護者10組(3回すべてに出席できる方)

申込：10月30日(木)までに申し込み。抽選。

親子クッキング

◆こんにやく作り体験◆

こんにやくをこんにやくいもから作ります。できたこんにやくはお持ち帰りいただけます。小学生とその保護者でご参加ください。

日時：12月20日(土)9:30～12:00

費用：1人500円

申込：12月6日(土)までに申し込み。抽選10組

環境活動支援センター 交流スペースイベント

◆小学生から大人のための自然観察 生き物編◆

《赤トンボ観察会》

日時：10月26日(日)10:00～12:00

申し込みはいりません。開催日に交流スペースに集合ください。費用無料。

交流スペース案内図

